

センター便り

〒601-0715 京都府南丹市美山町下宮ノ上ミ14-1
山村留学センター「四季の里」
TEL: 0771-77-0232 FAX: 0771-77-0279
E-Mail: miyamasanryu@cans.zaq.ne.jp

フレンチトースト作り



11月23日、前回子供たちが餃子作りに挑戦した「お昼ご飯を自分たちで作る」の第二弾として、「おやつを自分たちで作る」、でフレンチトースト作りにチャレンジしました。食パンを切って、ボールに牛乳と卵と砂糖を入れてよくかき混ぜたものをバットに敷き詰めた食パンの上からかけまわします。食パン全体がしっかり漬かるよう慎重にかけました。ホットプレートで厚く熱し、いっぱいバターを溶かしてパンを入れて両面が焼けたら出来上がり。今回はマホとモエが頑張ってくれて、美味しいおやつが食べられました。

宮津でバイキング

11月27日、センターでは毎度おなじみとなった「ホテルアンドリゾーツ京都宮津」の休日限定お昼のバイキングに行ってきました。あいにく外は寒い雨が降っていて、途中トイレ休憩に立ち寄ったサービスエリアでも雨風の強い中を寒い思いをして建物まで走って行くはめに。再出発してホテルに到着してもまだ雨は降りやまず、恒例の玄関での記念撮影もできませんでした。この日のバイキングは「全国うまいもんグルメ」が開催されていて、子供たちもさっそくマスクにビニール手袋をして思い思いの料理を取って来ては食べていました。雨のため、残念ながら毎年立ち寄っている「魚っ知館」には行けませんでした。



知井地区文化の集い



11月28日、旧知井小学校で第30回知井地区文化の集いが開催され、みんなで行って来ました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため舞台発表は取りやめとなり展示発表のみで開催されることになりました。山村留学センターの子どもたちにも作品出展の依頼があり10月下旬からみんなで話し合っって作品作りに取り組みました。作品の内容は幅66.5cm高さ91.0cmのキャンバスに英字新聞の貼り絵やみんなの手形を使って大きな木を描き、展示してもらいました。その他にも、子供たちが学校で書いた習字や絵画、版画や工作も展示されておりみんなで見学することに。また知井小時代に通っていたセンターの子供たちの写真やコメント等もたくさん残っており懐かしい思いがよみがえってきて、24期生も興味深々で先輩たちの写真を見ていました。

クリスマスツリー

12月5日、澤田さんがクリスマス用の大きなもみの木を軽トラに積んで持って来てくれました。子供たちもそれぞれの家でクリスマスツリーの飾り付けをしたことはあっても、本物のもみの木を見ることはそうそうなかったでしょう。それもこれだけ大きいクリスマスツリーはデパートとかで見かけることはあっても自分たちで飾り付けをすることはまず無いと思います。センターの奥の色々な資材が置かれている部屋から電飾を持って来て、千代野母さんに手伝ってもらってシンプルながらもきれいに飾り付けすることが出来ました。



雪降りました



12月18日、昨夜から降り出した雪が今朝目を覚ますと積雪20数センチ以上の大雪に、一夜にして辺り一面銀世界に大変身です。子供たちは除雪作業で腰を痛めた私を尻目に雪の中に飛び出して行って、雪だるまを作ったり、センター裏の斜面をソリですべて雪まみれ、汗まみれになりながら楽しんでいました。毎年12月の半ばにはさらっと雪が降っていましたが、こんなに積もったのは久しぶりです。子供たちには一足早いクリスマスプレゼントになりました。

山留生二学期の思い出

- 花田真穂・餃子を自分たちで作って食べたこと。甘いスイカやホクホクの焼き芋を食べたこと。誕生日会のケーキが美味しかったこと。市陸・運動会・駅伝が楽しかった。
- 松代萌恵・駅伝大会で2位で悔しい思いをしたこと。クリスマスでもみの木やベランに飾り付けをしたこと。焼き芋が美味しかった。
- 小島陽飛・芋ほりでいっぱいお芋が取れて楽しかった。ひまわり畑が迷路のようだった。バイキングに行ってきたくさん食べたこと。
- 松本夢加・運動会で優勝できたこと。お誕生日会でプレゼントをもらってうれしかった。焼き芋が甘くておいしかった。
- 柑本奈穂・持久走記録会で2位をとれたこと。餃子を上手に作れたことや、バイキングでご飯をいっぱい食べたこと。
- 岡部朱甫・甘いスイカやバーベキューのお肉が美味しかったこと。芋ほりが楽しかった。クリスマスツリーの飾り付けをしたこと。
- 小川美麗・誕生日会のケーキが美味しかったこと。クリスマスのプレゼントの買い物に行ったこと。焼き芋が美味しかった。

お母さんの一人言

今年も残りわずかになりました。思わぬ寒波に見舞われ雪景色となりましたが、子供達は大喜びでソリ滑りなど楽しんでいます。冬休み帰る前に雪遊びが出来て嬉しいかぎりのようです。お正月は家族と一緒に久しぶりにのんびりすごし、3学期を元気に迎えてほしいものです。コロナ禍の中、1年元気にすごせたことが何より幸せなことであったと思います。来年もどうか無事に過ごせますように！

しめ縄作り

12月18日、外は雪景色・・・あいにく積雪のため停電となり、薄暗い中でのしめ縄作りとなりました。それでも子供たちは澤田さんに教えてもらいながら一生懸命「わら」と格闘して縄を編んで第一段階の出来上がり。後日続きの作業をしてもらって立派なしめ縄飾りが完成し、子供たちも嬉しそうです。お陰様で、みんなお家に良いお土産が出来ました。



下・知見クリスマス会



12月19日、朝からセンター恒例の大掃除を済ませたあと、下・知見地区のクリスマス会にセンターの子供たちも呼んでもらいました。お昼前に下の公民館に集まってみんなでトランプをしたりオセロをしたり、6年生はホワイトボードにクリスマスのロゴやイラスト書きのお手伝いをしました。12時になってご飯を食べた後はお楽しみのビンゴゲームでおもちゃやお菓子をもらいました。「神経衰弱」で盛り上がった後はシフォンケーキにそれぞれがデコレーションしたものを食べてお腹いっぱい。楽しいクリスマス会を過ごすことが出来ました。

二学期の終わりに

12月18日、日本列島に予期せぬ寒波が到来して、年内に待望の雪遊びが出来るほどの積雪があり子供たちは大喜びです。2年目を迎えた新型コロナウイルスも9月の終わりころから徐々に落ち着きを見せてきた矢先に「オミクロン株」という新しい変異株が現れ、またまた先が見えなくなってしまいました。そんな中、二学期は運動会を始め各学年ごとの様々な行事がたくさんあって、気が付けば「あつた言う間」に過ぎさつたように思われます。4月の入所当時から子供たちには「1年間は長いようで短いよ」と、常に話をしてきましたが山留生活も残すところ3ヶ月足らずとなり、子供たちも今その言葉を実感していることでしょう。三学期に入って退所までに一つでも多く美山での思い出を作ってもらいたいと思っています。 指導員